鳥栖中学校区　小中一貫だより

鳥栖中学校　鳥栖小学校　鳥栖北小学校

令和２年７月１４日

盛夏の候、鳥栖中学校区の保護者の皆様には、各学校の教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。鳥栖中校区3校では、昨年度、鳥栖市教育委員会より研究委嘱を受け、小中一貫教育について研究発表会を行うことができました。本年度も昨年度の取組を継続させ、研究主題である「心豊かで、たくましく、自ら学ぶ“とすっ子”の育成」に取り組んで参ります。

鳥栖中校区では、小中一貫教育の推進のため、「学びつくり部」「生活つくり部」「仲間つくり部」「特別支援教育部」の4部会を組織し、それぞれの部会でテーマを掲げて研究に取り組んでいます。今号では4部会の今年度の取組内容についてお知らせいたします。

学びつくり部

これからの時代、予測困難な社会の変化に主体的に関わり、他者と協働しながら課題を解決していく資質・能力を身に付けていくことが必要とされます。そのために新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善を推進していくことが求められています。そこで、学びつくり部の研究主題を『深い学びにつながる「話し合う活動」を取り入れた授業づくり』とし、小・中学校９年間を通して児童生徒が確かな学力を身に付けられるようにしていきます。各学校では共通して次の事項に取り組んでいきます。

・学年部等の単位での授業研究

学年部、専門教科部で「話し合う活動」を核として教材研究を行い、授業力向上を目指します。

・３校の研究授業等の相互参観

本年度は、コロナ禍で学校間の交流は控えますが、各学校の取組を相互に参観することで、授業実践の積み上げを図り、９年間を見通した指導方法を模索していきます。

・学力・学習状況調査を活用した児童生徒の実態把握

本年度、全国の調査は行われませんでしたが、12 月実施予定の県の調査を分析し、PDCA サイクルを活用し課題改善に取り組みます。

仲間つくり部

仲間つくり部では、『自他のよさを認め、伝え合う仲間つくり』を研究主題としています。児童生徒が義務教育の９年間をかけて、自己有用感に裏付けられた自己肯定感を高め、人間関係をよりよく形成していけるように、児童生徒の交流や児童・生徒の指導上の問題などについて、意見の交流を図っていきます。各学校では、共通して次の事項に取り組んでいきます。（本年度は、コロナ禍により、中止や検討中の取り組みがあります。）

・今ある学校行事や交流の場を生かしたよりよい仲間づくり

・児童・生徒会活動の交流に関する計画立案と実施

・構成的エンカウンター・ソーシャルスキルトレーニングを取り入れた授業づくり

〈年間計画〉

７月　部活動見学（中止）

８月　「いじめに関する生徒会及び児童会の意見交換会」（検討中）

９月　人権標語の各学校での掲示

10 月　小中あいさつ運動

生活つくり部

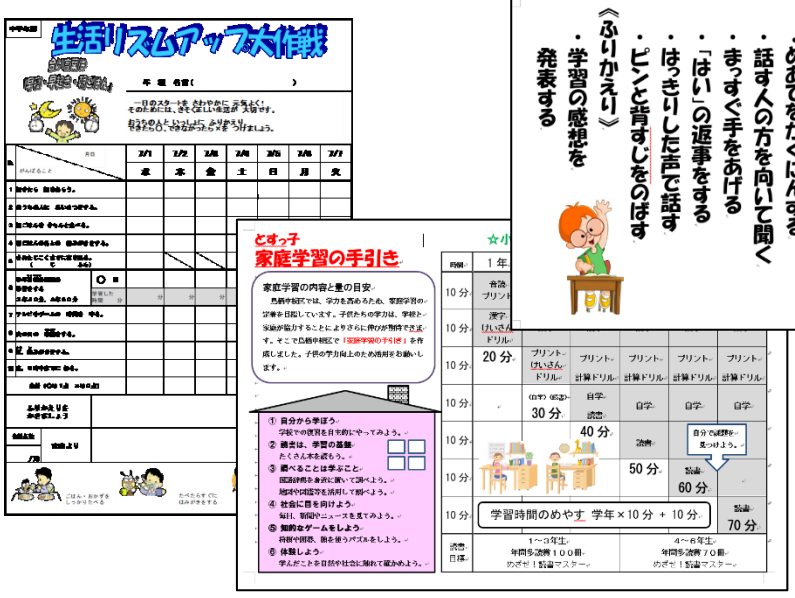
去る６月４日、三校の生活つくり部長会において、今年度の取り組みについて話合いをしました。これまでの鳥栖中校区一貫教育で培ってきた内容を改めて振り返り、コロナ禍の中でも児童・生徒の健やかな育ちを願い、継続して取り組んだ方がよいことを洗い出し下記のように整理しました。

○授業前、授業中、ふりかえりにおける「学習の約束」に統一して取り組むこと

○「とすっ子家庭学習の手引き」をすべての家庭に配布し統一して取り組むこと

○「ステップアップ学習態度週間」を学期始めに設定し、休業明けの生活リズムの定着を図ること

○鳥栖中学校のテスト期間に合わせて小学校では「生活リズムアップ大作戦」週間を設定することにより、家庭と連携して家庭学習等含めた家庭での過ごし方の安定や向上に取り組むこと



今年度も、地域や家庭の協力をいただきながら、子どもたちの９年間での確かな成長を願って取り組んでいきます。

特別支援教育部

特別支援教育部では、小中学校９年間を通して継続的かつ連続的な指導や支援ができるように取り組んでいきます。そこで、

○特別支援教育の指導方法や支援方法などの専門性を高め、どの子も意欲的に取り組める、分かる授業を目指すため、鳥栖中学校で授業研究会または中学校の授業の在り方についての研修会を行い、小中３校共同での研修を深めます。

○小中学校間で児童・生徒一人一人のニーズに合った指導や支援のあり方を共有するため、鳥栖中校区で効率的な引継ぎができる小中共通の個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成し活用していきます。

○児童や生徒、保護者、教師が活動を通して交流を深めるため、小学校５・６年生児童と中学生での仲良し交流会を行う予定です。また、交流会の後、中学校の特別支援教育に関わる説明会（５年生保護者向け）も行う予定です。

今年度は、新型コロナ感染症予防のため、仲良し交流会など一堂に会し親睦を深める行事は中止となるかもしれませんが、児童や生徒、保護者が安心して支援が受けられるように取り組んでいきます。